

## 鹿 児 島 の 県 民 性 (II-1)

—— (奄美) 大島郡名瀬市矢脇町, 同郡笠利町  
節田地区住民を対象として ——

協 勝 嘉・篠 原 優

### Social Character of the Native People of KAGOSHIMA PREFECTURE (II-1)

— by Interviews with 249 Inhabitants in (1) YANOWAKI  
CHŌ, NAZE CITY, and (2) SETTA, KASARI TOWN,  
the Islands of AMAMI-ŌSHIMA. —

Katsuka Waki and Yutaka Shinohara

#### 内 容

- 1 目 的
- 2 方 法
  - 2.1 対 象
  - 2.2 調査票
  - 2.3 出身別について
  - 2.4 調査期日及び面接者
- 3 結 果
  - 3.1 鹿児島県民の特徴
  - 3.2 奄美大島の住民の特徴
    - 3.2-1 大島と本土の比較
    - 3.2-2 大島と本土の男性群の比較
    - 3.2-3 大島と本土の女性群の比較
    - 3.2-4 大島と本土の農村間の比較
    - 3.2-5 大島と本土の市区間の比較
  - 3.3 大島郡内の比較
    - 3.3-1 郡内の農村と市区の比較
    - 3.3-2 郡内の男女間の比較
- 4 調査票と項目別集計表

#### 1 目 的

鹿児島県民の県民性を, その権威観, 価値観, 社会観, 教育観, 人間観, 異性観等の観点から把握しようとするものである。われわれは昭和41年10月に調査票を用意して, いわゆる本土から市街地, 農村, 麓(旧郷土集落)の三地区を選定して, それらの地区の住民に対して面接調査を行ない, その結果の一部を前巻に発表した。

本報告は同じ目的のもとに、同じ調査票を用いて奄美大島の住民について得られた資料の一部を整理分析したものである。

面接調査によって得られた資料は次の三視点から整理分析する。

- (1) 地区、性別、出身別、職業、学歴、年代別。
- (2) 大島と本土の比較検討。
- (3) 全国あるいは他の都府県民についての諸調査結果との比較検討。

## 2 方 法

### 2.1 対 象

名瀬市矢脇町、笠利町節田地区。二地区の選挙有権者名簿から等間隔抽出法によって、表1に示すとおり、被面接者を選定した。二地区はともに奄美大島本島に所在している。矢脇町は名瀬市のうちでは比較的住民の移動が少ないところであるといわれている。笠利町は、大島本島の他町村と比較して、山岳が高峻でなく、農耕地が最も広いところである。

表 1 被 面 接 者 数

地 区	男	女	計	抽 出 率 (%)	面 接 率 (%)
名 瀬 市	50	67	117	15	70.9
笠 利 町	59	73	132	15	79.5
サ ン プ ル 数	109	140	249	15	75.5

### 2.2 調 査 票

調査票の項目は (ア) 統計数理研究所作成の国民性調査票から選択した20項目、(イ) 牛島義友教授等作成の権威主義尺度から選択した7項目、(ウ) われわれが作成した7項目、合計34項目である。

### 2.3 出身別について

整理分析の一視点である出身別による分類の基準としては、(ア) 被面接者本人は勿論その父母またはそのいずれか一方が他の都道府県出身のものと、(イ) 10年以上本県以外のところに居住したことがあるものを non-native (NN) として一括した。NN は男女それぞれ11名計22名いた。(ウ) 以上のもの以外のものはすべて native (Na) として一括した。Na の中に本土出身のものが男2名、女1名計3名いた。下表ではこれら3名は [ ] でくくり、比率の算出にあたっては除外した。(ただし全国あるいは他の都府県との比較に際しては算入した。)

### 2.4 調査期日及び面接者

- (1) 調査期日 昭和42年夏期休暇中。
- (2) 面接者 名瀬市立名瀬小学校の教諭及び笠利町立節田小学校の教諭それぞれ6名計12名。

### 3 結 果

被面接者の回答を、項目ごとに前記の三視点から整理したものが後に貼付してある表 2.1 から表 8.4 である。ただし本報告には職業別、学歴別、年齢別による整理分析はふくめてない。

#### 3.1 鹿児島県民の特徴

われわれの調査票には、前述したとおり、他の都府県において実施された項目が 27 項目ふくまれている。これらの項目に対する回答を、全国（他の都府県をふくむ）、鹿児島県本土（以下本土と略称する）、奄美大島の三者の間の異同にもとづいて分類すると、各選択肢ごとに下記の 8 種の回答類型が可能である。

- |                 |             |             |
|-----------------|-------------|-------------|
| (1) 大 = 本,      | 大 = 全,      | 本 = 全。      |
| (2) 大 = 本,      | 大 = 全,      | 本 $\neq$ 全。 |
| (3) 大 = 本,      | 大 $\neq$ 全, | 本 = 全。      |
| (4) 大 $\neq$ 本, | 大 = 全,      | 本 = 全。      |
| (5) 大 = 本,      | 大 $\neq$ 全, | 本 $\neq$ 全。 |
| (6) 大 $\neq$ 本, | 大 $\neq$ 全, | 本 = 全。      |
| (7) 大 $\neq$ 本, | 大 = 全,      | 本 $\neq$ 全。 |
| (8) 大 $\neq$ 本, | 大 $\neq$ 全, | 本 $\neq$ 全。 |

注 1 大は大島、本は鹿児島県本土、全は全国を示す。

注 2 = は両者の回答率の間に 5% の有意水準で差がないことを、 $\neq$  は有意差があることを示す。

注 3 下記の諸表における大島及び本土の度数及び比率はすべて Na についてのものである。

注 4 下記の諸表において全国の標本数 200 の場合は牛島教授達が 1956 年に他の府県主として福岡県、東京都の 17~18 才の高校生に対して行なった調査結果である。参考までに記載した。その他の全国の資料は統計数理研究所が 1956 年に実施した国民性に関する調査結果である。

前記の 8 種の回答類型のうち、類型 5 即ち本土と大島の間にはその比率に有意差がなく、これら両者と全国の間にはいずれも有意な差がある項目選択肢の内容は鹿児島県民の特有的な人格特徴を示すものであるということができよう。表 9 に示すものがそれである。

表 9 鹿児島県民の特有的な人格特徴

項目番号	選 択 肢 の 内 容	大島 (%)	本土 (%)	全国 (%)	全 国 の サンプル数
2.1	自分の考えをおしとおすべきであるとするものは少く、	19.8	24	41	2254
	場合によるとするものが多い。	34.6	34	19	
2.2	親のことをすなおに聞くべきであるというものが多く、	54.3	48	34	200*
	反対するものは極めて少い。	1.9	3	41	
	また、いちがいいにはいけないというものも多い。	38.3	47	26	
2.3	上役の誤解はその場で解くというものが多い。	50.3	51	34	2254

2.4	すぐれた政治家に万事任すという意見への反対者は少く,	8.6	10	38	2254
	人や場合によるというものが多い。	36.4	34	9	
2.5	法律強化への賛成者が多く,	57.4	63	33	200*
	反対者は少い。	3.1	2	36	
3.1**	精神的なものを最も大事なものとしている者は相対的に少い。	9.8	11	21	2369
3.2	秀吉は若者の手本であるという意見の肯定者は相対的に少い。	70.4	65	80	2254
3.3	自分のこのみに合った生活様式の肯定者が多い。	33.5	38	21	2254
3.4	権力, 経済力のある人への高評価に反対するものは少く,	33.5	39	55	200*
	いちがいにはいえないというものは多い。	38.5	36	22	
3.6	伝統的なしきたりや風俗を残すことに賛成するものがより多い。	88.8	91	79	817
4.1	労働組合への好意的意見のものは少く,	48.4	51	69	2254
	中立的意見のものが相対的に多い。	16.8	20	2	
4.2	選挙には進んで投票するというものが多い。	71.6	73	62	2369
5.1	子供はのびのびと育てるのがよいとするものが多く,	52.5	46	16	2254
	きびしく育てるのがよいとするものは少い。	25.3	28	63	
5.4	子供に金銭の貴重さを教えるべきであるというものは相対的に少く,	55.3	46	65	2254
	いちがいにはいえないというものが相対的に多い。	23.6	22	9	
6.1***	性善説の肯定者は相対的に少く,	26.5	26	45	200*
	人と場合によるというものが多い。	55.6	49	37	
6.4	因果応報説の肯定者が多く,	41.3	47	16	200*
	その否定者は少い。	25.0	27	71	
7.1	男性では, 男性の方に楽しみが多いというものは相対的に少く,	44.9	47	67	390
	どちらともいえないとするものが多い。	43.5	43	22	
	女性では, 男性の方に楽しみが多いとするものは相対的に少く,	50	53	63	427
	どちらともいえないというものが多い。	34.8	38	20	
7.2	男女ともに, 苦勞は男性の方に多いというものは相対的に少く,	20.3 20.4	34 19	47 36	390(男) 427(女)
	また男性では, 中立的回答者がより多い。	39.1	38	26	390

注 1 \* 印の項目は, 前述のとおり, 牛島教授達の尺度から選択したものであり, 調査対象は17~18才の高校生である。参考までに記載した。

注 2 \*\* 印の項目については表11を参照されたい。

注 3 \*\*\* 印をつけた項目(6.1)はその表現及び選択肢において相互に異っているが, 統計数理研究所の調査票にも, また牛島教授達の権威主義尺度にもふくまれている。参考までに統計数理研究所の国民性調査におけるこの項目に対する集計表を示すと次のとおりである。

人の性は	善	悪	善でもあり、同 時に悪でもある	善でも悪 でもない	DK	その他	サンプル数
%	31	2	25	35	7	0	2254

項目 3.6 の選択肢（イ）を肯定したものが保存すべきものとしてあげたものの順位を地区別、性別に示したものが表 10 である。

表 10 の各内容の順位を大島、本土、岐阜の三地区間で比較すると、（ア）芸術の順位が低いこと（イ）女性群において和服及び作法の順位が高いことの二点が大島と本土に共通している。なお道徳が三者に共通して高く順位づけられていることが注目される。

表 10 保存すべきものの順位

地 区 内 容	大 島				本 土			岐 阜
	Na			NN	男	女	計	
	男	女	計					
生活様式	8	8	8	7.5	6	3	3	7
和 服	2.5	1	1	3.5	8	2	5	5
住 居	6.5	7	7	7.5	5	6.5	6	8
芸 術	4.5	6	6	5.5	3	5	4	1
作 法	6.5	2	3.5	1	2	1	1	5
道 徳	1	3	2	2	1	4	2	2
家族制度	2.5	4	3.5	5.5	7	6.5	7	5
習 慣	4.5	5	5	3.5	4	8	8	3

### 3. 2 奄美大島の住民の特徴

#### 3.2-1 大島と本土の比較

大島と鹿児島県の本土との間に統計的に有意な差が存する（項目の）選択肢の内容は大島の住民のもつ諸特徴のうちその特有的な人格特徴を示すものであると考えることができよう。そのような選択肢は前述の 8 類型のうち類型 4, 6, 7, 8 に属するものであり、及びわれわれが作成した 7 項目の選択肢のうち統計的に有意な差がみとめられたものがそれである。それは表 11 に示すとおりである。サンプル数は大島 (Na) 162 人、本土 (Na) 226 人。

以上の奄美大島の住民の特有的特徴を示すと考えられる選択肢の内容のうち、類型 6 は本土と全国の間には有意差はみとめられないが、これら両者と大島の間にはいずれも有意差がみとめられる選択肢である。この類型に該当する項目選択肢は 3, 4 =, 4.1 =, 5.4 口, 6.2 ハ, 6.5 ハ である。これらのうち 5.4 口 への回答では大島の住民は金銭の貴重さを教えることに反対するものは相対的に少ない。6.5 ハ への回答では飲酒の上の非常識な行動を寛容するかどうかは場合によるというものが多い。その他の 3 項目に対しては DK 回答者がより多かつた。

表 11 奄美大島の住民の特有的特徴

類型	項目番号	選 択 肢 の 内 容	大島 (%)	本土 (%)	全国 (%)	全国の 標本数
8	3.1	健康を最も大切であるというものが多い。	66.5	42	12	2369
4	3.3	清く正しい生活様式を選好するものが多い。	33.5	24	29	2254
6	3.4	権力、経済力をもつ人の評価についてはDK回答が多い。	18.6	8	0	200*
	3.7**	伝統志向型生活様式をとるものが相対的に多い。	21.9	11		
6	4.1	労働組合に関する意見についてはDK回答が多い。	25.5	15	11	2254
7	5.2	体面重視の教育の肯定者が相対的に多く、	39.5	24	36	2254
7		本心重視の教育の肯定者は相対的に少ない。	47.5	60	43	
4	5.3	青年に対するきびしい鍛練の支持者が多く、	74.4	65	69	200*
4		いちがいいには言えないという者は相対的に少ない。	14.4	27	20	
6	5.4	金銭尊重を教えることに反対するものは少ない。	11.8	28	24	2254
6	6.2	上役との関係についての質問にはDK回答者が多い。	22.2	11	7	350
4	6.5	飲酒の上の非常識行為を許さないという者は相対的に少く、	42.2	54	50	350
6		場合によるとする者が多い。	50.3	35	33	
	8.4**	結婚の条件として相手の家柄をあげるものが相対的に多い。	29.9	12.4		
		外部的形式的諸条件は考慮の必要はないという者は少ない。	33.1	46.9		

注 1 \* 印の項目は牛島教授達の尺度から選択したものである。

注 2 \*\* 印の項目即ち類型番号のついてない項目はわれわれが作成したものである。

類型8は大島、本土、全国の三者間のどの対間にも統計的に有意な差がみとめられる項目選択肢であるが、これに該当する項目は3.1である。すなわち“あなたにとって一番大切なものを一つあげよ”という質問に対して、健康をあげたものが全国では12%、本土では42%、大島では66.5%であった。これら三者の比率からいって、健康の重視ということは鹿児島県民に特有的な考え方であるとみることができるが、大島では本土以上に健康を重視するものが多いことが注目される。

表10によってわかるように、風俗やしきたりの保存に関する大島と本土との順位差の顕著なものは生活様式(8, 3)、家族制度(3.5, 7)、習慣(5, 8)、和服(1, 5)である〔カッコ内の数字は前者は大島の、後者は本土の順位を示す〕。大島では保存すべきものとして和服が第一位にあることは大島紬がその主要産業の一つであり、回答者のうちに2地区の男女ともに紬織工が多いことから理解できる。項目3.6についての記述は以下の各節では省略した。前掲の表10を参照されたい。

表9、表10、表11を対照していいうことは(1)本土と大島の間には統計的に有意な差がある特徴よりも有意差がみとめられない特徴の方がはるかに多いこと、(2)有意差がある特徴の数は、大島と全国との間よりも、大島と本土との間の方がより少ないという点である。

## 3.2-2 大島と本土の男性群間の比較

大島と本土の男性群間において回答率に5%またはそれ以下の有意水準で差異があった(項目の)選択肢は表12のとおりである。サンプル数大島69人, 本土97人。

表12 男性群において有意差のある項目

項目番号	選 択 肢 の 内 容	大 島 (%)	本 土 (%)
2.4	政治家への万事一任の意見については人や場合によるとするものが多い。	46.4	30
3.1	最も大切なものとして健康をあげるものが多い。	68.6	41
3.7	他人志向型生活様式をとるものはより少ない。	10.3	24
5.3	青年に対する厳格な鍛練の必要について“いちがいはいえない”という者はより少ない。	8.8*	24
6.1	性悪説の肯定者は相対的に少ない。	10.1	23
6.3	自然に対する態度としてその活用を主張する者はより少なく,	32.4	55
	対立克服すべきものとみる者が多い。	42.6	26
6.5	飲酒の上の非常識行動を許容しないとする者はより少なく,	30.9	51
	場合によるとする者が多い。	67.6	38
7.2	苦しみは女性の方に多いという男性は大島の方が本土より多い。	37.7	26
7.5	校長としての女性の適性・能力をみとめる者はより少ない。	44.1	55
8.1	家の後継者として長子をあげる者は少なく,	14.5	24
	どの子でもよいという者が相対的に多い。	78.3	63
8.4	結婚の条件として家柄をあげる者が相対的に多い。	23.4	10.3

注 \* 印をつけた項目は、回答率が極めて低いものについて検定を行い、その結果にもとづいて差の有無を断定することは危険であるが、ここでは参考までに記載した。以下同様。

## 3.2-3 大島と本土の女性群間の比較

大島と本土の女性群の間において5%またはそれ以下の有意水準で回答率に差異がある項目選択肢は表13のとおりである。サンプル数大島93人, 本土129人。

表13 女性群間に有意差のある項目

項目番号	選 択 肢 の 内 容	大 島 (%)	本 土 (%)
2.1	しきたりへの同調行動と独立行動の可否についてDK回答者がより多い。	16.1	4
3.1	健康を重視するものが多い。	64.9	42
	子供をあげたものは相対的に少ない。	8.5	19
3.2	秀吉は若者の手本であるという意見に対してDK回答者がより少ない。	11.8	23
3.4	権力, 経済力の所有者への高評価に賛成するものは相対的に少なく,	8.7	19
	DK回答者が多い。	26.1	9
3.7	伝統志向型生活様式をとるものが多い。	27.2	16

4.1	労働組合への賛否については DK 回答者が多い。	38	17
5.1	自由主義的教育と厳格主義教育に対して中立的意見のものはより少ない。	15.1	26
5.2	家庭での体面重視の教育への賛成者がより多く、	47.3	23
	本心に従った行動重視の教育の肯定者は相対的に少ない。	39.8	60
5.4	金銭の貴重さの教育の肯定者が多く、	60.9	47
	その反対者は少ない。	6.5	29
6.2	上役との関係のあり方に関する質問に DK 回答者が多い。	30.1	11
6.4	因果応報説について DK 回答者が多い。	18.3	8
8.4	結婚の条件として家柄をあげるものがより多い。	34.4	14.0
	外部的形式的諸条件は考えなくともよいとする者はより少ない。	30.0	43.4

表 12 と表 13 を比較して気づくことは先ず有意差のある項目数は男性群において 11, 女性群において 12 ある。そのうち両群に共通な項目は (3.1), (3.7), (8.4) の 3 項目である。項目 3.1 に対する回答では男女とも健康を最も重視するものが本土よりも多い。項目 3.7 に対する回答では他人志向型生活様式をとるものは大島の男性群の方が本土よりも少なく, 他方女性群では伝統志向型生活様式をとるものがより多い。項目 8.4 に対する回答では男女とも結婚の条件として家柄をあげるものは大島の方が本土よりも多い。更に女性群では外部的形式的諸条件は考慮する必要はないというものは大島の方がより少ない。次に大島の女性群では上記の 12 項目のうち DK 回答が本土より少ないのは僅かに 1 項目であるが, 5 項目において DK 回答が本土より多かった。この点男性群では上記の 11 項目については大島と本土の間に有意な差のあるものはなかった。

### 3.2-4 大島と本土の農村間の比較

大島郡笠利町節田地区 (標本数 94 人) と本土の始良郡始良町三船地区 (標本数 101 人) の比較において 5% またはそれ以下の有意水準で差異がみとめられた項目選択肢は表 14 に示すとおりである。

表 14 農 村 間 の 比 較

項目番号	選 択 肢 の 内 容	笠 利 (%)	始 良 (%)
3.1	健康を重視するものが多い。	68.5	38
	金銭, 財産をあげるものは相対的に少ない。	2.1	15
3.3	清く正しい生活様式を選好するものが多い。	34.4	20
3.4	権力, 経済力をもつ人への高評価に関して DK 回答者が多い。	22.6	8
3.7	伝統志向型生活様式をとるものが相対的に多い。	20.7	8
5.1	子どもの教育方針について中立的意見のものは少ない。	12.8	29
5.2	体面重視の教育の肯定者が多い。	40.4	27



5.3	青年に対する厳格な鍛練の必要性について中立的意見の者はより少ない。	12	24
5.4	金銭の貴重さの教育に反対意見のものは少ない。	16	28
6.1	性悪説に賛成するものは相対的に少ない。	13.8	27
6.3	自然は利用すべきものであるというものは相対的に少ない。	32.6	49
6.5	飲酒の上の非常識な行為に対して寛容な意見のものは少なく、	41.9	58
	不寛容なものが多い。	52.7	30
7.5	女性に校長としての能力をみとめるものは少ない。	37.4	51
8.4	結婚の条件として家の間のつりあいをあげるものが多い。	29.2	15
	家柄をあげるものも多い。	30.3	6
	相手の出身地域を条件とするものも多い。	25.8	9
	上記のような外部的形式的諸条件は考える必要はないとするものは少ない。	30.3	44

### 3.2-5 大島と本土の市区間の比較

鹿児島市冷水町（標本数 101 人）と名瀬市矢脇町（標本数 68 人）の住民の回答率の間に 5% またはそれ以下の有意水準で差異があった項目選択肢は表 15 に示すとおりである。

表 15 市区間の比較

項目番号	選 択 肢 の 内 容	名瀬市 (%)	鹿児島市 (%)
3.1	健康を重視するものがより多い。	63.8	44
4.1	労働組合に対する態度に関する質問に DK 回答者がより多い。	22.1	11
5.2	体面重視の教育の肯定者が多い。	38.2	17
	本心重視の教育の賛成者はより少ない。	50	70
5.3	青年に対する厳格な鍛練の必要に関して中立的意見のものは少ない。	8.8	33
5.4	金銭の貴重さの教育については賛成者が多く、	53.7	36
	反対者は少ない。	6	32
6.2	上役との関係は仕事の上だけであるというものは少ない。	5.9	18
	DK 回答者が相対的に多い。	19.1	7
8.4	結婚の条件として家柄をあげる者が多い。	29.2	12

表 14 と表 15 を対照して気づくことは、両比較表に共通にあらわれている項目は 3.1, 5.2, 5.3, 5.4, 8.4 の 5 項目であり、農村と市区の資料はともに同じ方向を指向している。ちなわち健康の重視、体面重視の教育、結婚の条件として家柄を考慮する点においては農村、市街地とも大島の住民の比率の方が高く、金銭の貴重さの教育に対する反対意見、青年の厳格な教育に関する中立的意見は大島の方が相対的に少ない。次に気づくことは統計的に有意差のある項目選択肢の数は農村の方

が市区よりもより多いことである。

### 3.3 大島郡内の比較

#### 3.3-1 郡内の農村と市区の比較

笠利町節田地区（農村，サンプル数 94 人）と名瀬市矢脇町（サンプル数 68 人）の住民の回答率に 5% またはそれ以下の有意水準で差異があった項目選択肢は表 16 に示すとおりである。

表 16 郡内の農村と市区の間に有意差のある項目選択肢

項目番号	選 択 肢 の 内 容	農 村 (%)	市 区 (%)
2.3	上役の誤解は後日解くというものは市区のものに多い。	23.4	39.4
3.3	自分のこのみにあった生活様式を選好するものは市区のものに多い。	22.6	48.5
	その日その日を呑気にくらす生活様式を選好するものは農村の方がより多い。	19.4	1.5
3.4	権力や経済力の所有者に対する高評価についていちがいにはいえないというものは市区に多い。	28.0	52.9
5.4	金銭の貴重さの教育についてその賛否はいちがいにはいえないという者は市区に多い。	17.0	33.3
8.4	結婚の条件として出身地をあげるものは農村に多い。	25.8	12.3

#### 3.3-2 郡内の男女間の比較

郡内の男女の回答率に 5% またはそれ以下の有意水準で差異があった項目選択肢は表 17 のとおりである。サンプル数男性群 69 人，女性群 93 人。

表 17 郡内の男女の回答率の間に有意差のある項目選択肢

項目番号	選 択 肢 の 内 容	男 (%)	女 (%)
2.1	しきたりに従うか自分の考をおしとおすすめは場合によるというものは男性の方に多い。	43.5	28
2.4	万事政治家に一任するかどうかは人や場合によるという者は男性に多い。	46.4	29
	DK 回答者は女性に多い。	5.8	21.5
3.4	権力や経済力の所有者に対する高評価に関しては女性には DK 回答者が多い。	8.7	26.1
3.7	内面志向型生活様式をとるものは男性に多い。	57.4	39.1
4.1	労働組合に好意的なものは男性に多い。	62.3	38.0
	女性には DK 回答者が多い。	8.7	38.0
5.1	子どもの厳格な教育を肯定するものは女性の方に多い。	15.9	32.3
5.2	女性には体面重視の教育の肯定者が多い。	30.0	47.3
	本心重視の教育の肯定者は男性に多い。	58.0	39.8
5.6	高校の共学制の可否に関する DK 回答は女性に多い。	10.1	26.6
6.2	男性には上役との関係を家族関係に擬制するものがより多い。	79.7	63.4
	DK 回答者は女性に多い。	11.6	30.1

6.3	自然を克服すべきものと観るものは男性の方が多い。	42.6	25.3
6.5	飲酒の上の非常識な行為を許さないというものは女性の方が多い。	30.9	50.5
	場合によるというものは男性の方が多い。	67.6	37.6
8.1	長子を家の後継者とするというものは女性に多い。 *	14.5	29.3
	どの子どもでもよいというものは男性が多い。	78.3	62.4
8.4	結婚の条件として女性には家の間のつりあいをあげるものが多い。	18.8	38.9

表 16 と表 17 を比較して先ず気づくことは統計的に有意差のある項目選択肢が地区間においては少なく、男女間において多いことである。次に両比較表に共通な項目は (3.4) と (8.4) の 2 項目である。ただし項目 3.4 においては市区の住民に“権力や経済力の所有者の高評価”について“いちがいにいえない”とするものが多いのに、性別の比較においては女性に DK 回答者が多い。項目 (8.4) においては農村の住民に“結婚の条件として”出身地をあげるものが多いが、家の間のつりあいをあげるものは女性の方が多い。

3章の表 9～17 (表 10 をのぞく) にあげられている項目選択肢の個数を機械的にまとめると表 18 のようになる。

表 18 諸比較において有意差のある項目選択肢の数

表 番 号	比 較	有意差のある		摘 要
		項 目 数	選 択 肢 数	
9	大島, 本土, 全国	18	33	○26 項目中, 前二者間には差がなく, 全国とは差異があるもの。 ○33 項目中, 両者間に有意差のあるもの。 従って両者に共通な項目は22項目であり, その中18項目は県民共通の特有特徴であるといえよう。
11	大島, 本土	11	15	
12	大島, 本土(男性群)	11	14	○大島と本土の性別比較においては, 差のある項目の数はほぼ等しいが, 選択肢数においては女性群の方がやや多い。
13	大島, 本土(女性群)	12	17	
14	大島, 本土 (農村)	13	18	○大島と本土の農村間及び市区間比較では, 前者に差のある項目選択肢の数が多い。
15	大島, 本土 (市区)	7	10	
16	郡内 (農村と市区)	5	6	○郡内比較においては, 男女間に差異のある項目選択肢の数が多い。
17	郡内 (男と女)	13	19	

注 項目 3.6 (その回答資料は表 10 に示してある) についてはここでは記述を省略してある。

### 4 調査票と項目別集計表

注 表8・2・1の質問文は本土の場合(S 41年実施)“…誕生日や七五三のお祝…”となっており、大島郡の場合(S 42年実施)“…誕生日のお祝…”となっていて、内容に相違があるので、この項目8・2に対する回答に関する大島と本土の比較検討の表8・2・1及びこの項目に関する記述はすべて保留する。

なおこの項目に対する回答の比較については表8・2・2を参照されたい。

表 2:1

選択肢	奄 美 大 島										本 土			全 国
	農 村			市 街 地			合 計				男	女	計	
	男	女	計	男	女	計	男	女	Na	NN				
イ	10 (24.4)	8 (15.1)	18 (19.1)	[1] 4 (10.7)	11 (27.5)	[1] 15 (20.6)	[1] 14 (18.8)	19 (20.4)	[1] 33 (19.8)	5 (22.7)	27 (28)	27 (21)	54 (24)	(41)
ロ	15 (36.6)	20 (37.7)	35 (37.2)	8 (28.6)	13 (32.5)	21 (30.9)	23 (33.3)	33 (35.5)	56 (34.6)	6 (27.3)	37 (38)	50 (39)	87 (38)	(35)
ハ	14 (34.1)	17 (32.1)	31 (33.0)	[1] 17 (57.1)	[1] 10 (22.5)	[2] 27 (36.8)	[1] 31 (43.5)	[1] 27 (28.0)	[2] 58 (34.6)	9 (40.9)	30 (31)	47 (36)	77 (34)	(19)
ニ	2 (4.9)	8 (15.1)	10 (10.6)	1 (3.6)	7 (17.5)	8 (11.8)	3 (4.3)	15 (16.1)	18 (11.4)	2 (9.1)	3 (3)	5 (4)	8 (4)	(4)
計	41	53	94	[2] 30	[1] 41	[3] 71	[2] 71	[1] 94	[3] 165	22	97	129	226	2254

注 数値はその選択肢を選択肯定した人数。  
カッコ内の数値は%。以下同様。

- 2.1
- |   |  |
|---|--|
| あなたは、自分が正しいと思えば、世の中のしきたりにそむいても、自分の考えを、おし通すべきだと、思いますか。それとも、世の中のしきたりに、従ったほうがよいと思いますか。 | (イ) おし通すのがよい。<br>(ロ) 従うのがよい。<br>(ハ) 場合による。<br>(ニ) わからない。 |
|---|--|

表 2:2

選択肢	奄 美 大 島										本 土			全 国
	農 村			市 街 地			合 計				男	女	計	
	男	女	計	男	女	計	男	女	Na	NN				
イ	20 (48.8)	36 (67.9)	56 (59.6)	[1] 15 (50.0)	18 (45.0)	[1] 33 (47.1)	[1] 35 (49.3)	54 (58.1)	[1] 89 (54.3)	10 (45.5)	45 (46)	64 (50)	109 (48)	(34)
ロ	2 (4.9)	1 (1.9)	3 (3.2)	[1] 1 (0)	0 (0)	[1] 1 (0)	[1] 3 (2.9)	1 (1.1)	[1] 4 (1.9)	0	2 (2)	4 (3)	6 (3)	82 (41)
ハ	17 (41.5)	13 (24.5)	30 (31.9)	12 (42.9)	[1] 21 (50.0)	[1] 33 (47.1)	29 (42.0)	[1] 34 (35.5)	[1] 63 (38.3)	10 (45.5)	49 (51)	58 (45)	107 (47)	(26)
ニ	2 (4.9)	3 (5.7)	5 (5.3)	2 (7.1)	2 (5.0)	4 (5.9)	4 (5.8)	5 (5.4)	9 (5.6)	2 (9.1)	1 (1)	3 (2)	4 (2)	(0)
計	41	53	94	[2] 30	[1] 41	[3] 71	[2] 71	[1] 94	[3] 165	22	97	129	226	200

- 2.2
- |  |  |
|--|--|
| 「子どもがもつべき、もっともたいせつな心得は、親のいうことを、すなおにきくことである」という意見について、あなたは どう思いますか。 | (イ) 賛成です。<br>(ロ) 反対です。<br>(ハ) いちがいには、いえません。<br>(ニ) わかりません。 |
|--|--|

表 2:3

選択肢	奄美大島										本土			全国
	農村			市街地			合計				男	女	計	
	男	女	計	男	女	計	男	女	Na	NN				
イ	28 (68.3)	25 (47.2)	53 (56.4)	12 (40.0)	[1] 18 (43.9)	30 (42.3)	40 (56.3)	43 (45.7)	83 (50.3)	10 (45.5)	57 (59)	59 (46)	116 (51)	(34)
ロ	11 (26.8)	11 (20.8)	22 (23.4)	13 (43.3)	15 (36.6)	28 (39.4)	24 (33.8)	26 (27.7)	50 (30.3)	9 (40.9)	31 (32)	49 (38)	80 (35)	(32)
ハ	2 (4.9)	2 (3.8)	4 (4.3)	1 (3.3)	4 (9.8)	5 (7.0)	3 (4.2)	6 (6.4)	9 (5.5)	0	3 (3)	7 (5)	10 (4)	(18)
ニ	0	15 (28.3)	15 (16.0)	4 (13.3)	4 (9.8)	8 (11.3)	4 (5.6)	19 (20.2)	23 (13.9)	3 (13.6)	6 (6)	14 (11)	20 (9)	(11)
計	41	53	94	30	41	71	71	94	165	22	97	129	226	2254

2.3

ある会社員が、多くの人がいるところで、上役の人から叱られました。ところが、それは上役の人の誤解でした。そんな時、その会社員は、どうするのがいちばんよいでしょうか。

- (イ) その場で、誤解をときます。
- (ロ) その場では、だまっけて、あとで誤解をときます。
- (ハ) そのまま聞いておき、あとからもいいません。
- (ニ) わかりません。

表 2:4

選択肢	奄美大島										本土			全国
	農村			市街地			合計				男	女	計	
	男	女	計	男	女	計	男	女	Na	NN				
イ	16 (39.0)	19 (35.8)	35 (37.2)	[1] 10 (32.1)	15 (37.5)	[1] 25 (36.8)	[1] 26 (36.2)	34 (36.6)	[1] 60 (36.4)	7 (31.8)	43 (44)	45 (35)	88 (39)	969 (43)
ロ	6 (14.6)	5 (9.4)	11 (11.7)	[1] 2 (3.6)	[1] 3 (5.0)	[2] 5 (7.4)	[1] 8 (10.1)	[1] 8 (8.6)	[2] 16 (8.6)	1 (4.5)	10 (10)	13 (10)	23 (10)	857 (38)
ハ	16 (39.0)	14 (26.4)	30 (31.9)	16 (57.1)	13 (32.5)	29 (42.6)	32 (46.4)	27 (29.0)	59 (36.4)	9 (40.9)	29 (30)	48 (37)	77 (34)	203 (9)
ニ	1 (2.4)	4 (7.5)	5 (5.3)	0	1 (2.5)	1 (1.5)	1 (1.4)	5 (5.4)	6 (3.7)	1 (4.5)	8 (8)	5 (4)	13 (6)	(3)
ホ	2 (4.9)	11 (20.8)	13 (13.8)	2 (7.1)	9 (22.5)	11 (16.2)	4 (5.8)	20 (21.5)	24 (14.8)	4 (18.2)	7 (7)	18 (14)	25 (11)	(7)
計	41	53	94	[2] 30	[1] 41	[3] 71	[2] 71	[1] 94	[3] 165	22	97	129	226	2254

2.4

「日本が、もっとよく発展するためには、すぐれた政治家があらわれたら、すべて、その人にまかせたほうがよい」という意見について、どう思いますか。

- (イ) 賛成です。
- (ロ) 反対です。
- (ハ) 人や場合によります。
- (ニ) そんな人は、あらわれません。
- (ホ) わかりません。

表 2:5

選択肢	奄 美 大 島										本 土			全 国
	農 村			市 街 地			合 計				男	女	計	
	男	女	計	男	女	計	男	女	Na	NN				
イ	26 (63.4)	29 (54.9)	55 (58.5)	<sup>[2]</sup> 20 (64.3)	20 (50.0)	<sup>[2]</sup> 40 (55.9)	<sup>[2]</sup> 46 (63.8)	49 (52.7)	<sup>[2]</sup> 95 (57.4)	12 (54.5)	64 (66)	78 (60)	142 (63)	66 (33)
ロ	0	5 (9.4)	5 (5.3)	0	0	0	0	5 (5.4)	5 (3.1)	2 (9.1)	4 (4)	1 (1)	5 (2)	72 (36)
ハ	13 (31.7)	10 (18.9)	23 (24.5)	8 (28.6)	<sup>[1]</sup> 13 (30.0)	<sup>[1]</sup> 21 (28.2)	21 (30.4)	<sup>[1]</sup> 23 (23.7)	<sup>[1]</sup> 44 (26.5)	7 (31.8)	22 (23)	34 (26)	56 (25)	62 (31)
ニ	2 (4.9)	9 (17.0)	11 (11.7)	2 (7.1)	8 (20.2)	10 (14.7)	4 (5.8)	17 (18.3)	21 (13.0)	1 (4.5)	7 (7)	16 (12)	23 (10)	(0)
計	41	53	94	<sup>[2]</sup> 30	<sup>[1]</sup> 41	<sup>[3]</sup> 71	<sup>[2]</sup> 71	<sup>[1]</sup> 94	<sup>[3]</sup> 165	22	97	129	226	200

2.5

「今日のような混乱した社会では、法律はもっときびしくする必要がある」という意見について、どう思いますか。

- (イ) 賛成です。
- (ロ) 反対です。
- (ハ) いちがいには、いえません。
- (ニ) わかりません。

表 3:1

価 値	奄 美 大 島										本 土			全 国	
	農 村			市 街 地			合 計				男	女	計	I	II
	男	女	計	男	女	計	男	女	Na	NN					
健 康	29 (70.7)	36 (66.7)	65 (68.5)	<sup>[1]</sup> 20 (65.5)	<sup>[1]</sup> 26 (62.5)	<sup>[2]</sup> 46 (63.8)	<sup>[1]</sup> 49 (68.6)	<sup>[1]</sup> 62 (64.9)	<sup>[2]</sup> 111 (66.5)	14 (63.6)	40 (41)	54 (42)	94 (42)	(21)	284 (12)
子 供	6 (14.6)	5 (9.3)	11 (11.6)	2 (6.9)	3 (7.5)	5 (7.2)	8 (11.4)	8 (8.5)	16 (9.8)	1 (4.5)	12 (12)	24 (19)	36 (16)	(12)	261 (11)
家 族	0 (0)	5 (9.3)	5 (5.3)	<sup>[1]</sup> 3 (6.9)	2 (5.0)	<sup>[1]</sup> 5 (5.8)	<sup>[1]</sup> 3 (2.9)	7 (7.4)	<sup>[1]</sup> 10 (5.5)	1 (4.5)	5 (5)	16 (12)	21 (9)	(19)	261 (11)
幸福等 愛情	1 (2.4)	6 (11.2)	7 (7.5)	3 (10.3)	6 (15.0)	9 (13.0)	4 (5.7)	12 (12.8)	16 (9.8)	3 (13.6)	11 (11)	14 (11)	25 (11)	(11)	497 (21)
金 財	1 (2.4)	1 (1.9)	2 (2.1)	0	4 (10)	4 (5.8)	1 (1.4)	5 (5.3)	6 (3.7)	1 (4.5)	12 (12)	9 (7)	21 (9)	(16)	284 (12)
DK	2 (4.9)	1 (1.9)	3 (3.2)	1 (3.4)	0	1 (1.4)	3 (4.3)	1 (1.1)	4 (2.4)	0	0	0	0	(5)	118 (5)
その他	2 (4.9)	0	2 (2.1)	2 (6.9)	0	2 (2.9)	4 (5.7)	0	4 (2.4)	2 (9.1)	17 (18)	12 (9)	29 (13)	(27)	450 (19)
計	41	54	95	<sup>[2]</sup> 31	<sup>[1]</sup> 41	<sup>[3]</sup> 72	<sup>[2]</sup> 72	<sup>[1]</sup> 95	<sup>[3]</sup> 167	22	97	129	226	2254	2369

注：全国Iの項目内容は“あなたの家で…”，IIは“あなたにとって…”，ここではIIと比較した。

3.1

あなたにとって、いちばんたいせつなものは、なんですか。ひとつだけあげて下さい。なんでも、かまいません。

たいせつなもの ( )

表 3:2

選択肢	奄 美 大 島										本 土			全 国
	農 村			市 街 地			合 計				男	女	計	
	男	女	計	男	女	計	男	女	Na	NN				
イ	28 (68.3)	36 (67.9)	64 (68.1)	<sup>[1]</sup> 22 (75.0)	<sup>[1]</sup> 30 (72.5)	<sup>[2]</sup> 52 (73.5)	<sup>[1]</sup> 50 (71.0)	<sup>[1]</sup> 66 (69.9)	<sup>[2]</sup> 116 (70.4)	16 (72.7)	65 (67)	83 (64)	148 (65)	803 (80)
ロ	0	1 (1.9)	1 (1.1)	0	0	0	0	1 (1.1)	1 (0.6)	0	2 (2)	3 (2)	5 (2)	(4)
ハ	9 (22.0)	4 (7.5)	13 (13.8)	<sup>[1]</sup> 8 (25.0)	7 (17.5)	<sup>[1]</sup> 15 (20.6)	<sup>[1]</sup> 17 (23.2)	11 (11.8)	<sup>[1]</sup> 28 (16.7)	4 (18.2)	24 (25)	30 (22)	54 (24)	225 (10)
ニ	4 (9.8)	12 (22.6)	16 (17.0)	0	4 (10.0)	4 (5.9)	4 (5.8)	16 (17.2)	20 (12.3)	2 (9.1)	6 (6)	13 (10)	19 (8)	(5)
計	41	53	94	<sup>[2]</sup> 30	<sup>[1]</sup> 41	<sup>[3]</sup> 71	<sup>[2]</sup> 71	<sup>[1]</sup> (94)	<sup>[3]</sup> 165	22	97	129	226	2254

3.2

「太閤秀吉のように、名もないものから、努力をかさねて、立身出世したものは、いつの世になっても、若いものの手本である」という意見についてどう思いますか。

- (イ) 賛成です。
- (ロ) 反対です。
- (ハ) いちがいにはいえません。
- (ニ) わかりません。

表 3:3

選択肢	奄 美 大 島										本 土			全 国
	農 村			市 街 地			合 計				男	女	計	
	男	女	計	男	女	計	男	女	Na	NN				
イ	2 (5.0)	9 (17.0)	11 (11.8)	2 (7.1)	3 (7.5)	5 (7.4)	4 (5.9)	12 (12.9)	16 (10.0)	1	11 (11)	18 (14)	29 (13)	(15)
ロ	1 (2.5)	3 (5.7)	4 (4.3)	1 (3.6)	1 (2.5)	2 (2.9)	2 (2.9)	4 (4.3)	6 (3.7)	0	7 (7)	5 (4)	12 (5)	(6)
ハ	13 (32.5)	8 (15.1)	21 (22.6)	14 (50.0)	19 (47.5)	33 (48.5)	27 (39.7)	27 (29.0)	54 (33.5)	10 (47.6)	38 (39)	49 (37)	87 (38)	473 (21)
ニ	7 (17.5)	11 (20.8)	18 (19.4)	1 (3.6)	<sup>[1]</sup> 1	<sup>[1]</sup> 2 (1.5)	8 (11.8)	<sup>[1]</sup> 12 (11.8)	<sup>[1]</sup> 20 (11.8)	3 (14.3)	10 (10)	16 (12)	26 (12)	(11)
ホ	14 (35.0)	18 (34.0)	32 (34.4)	<sup>[2]</sup> 10 (28.6)	14 (35.0)	<sup>[2]</sup> 24 (32.4)	<sup>[2]</sup> 24 (32.4)	32 (34.4)	<sup>[2]</sup> 56 (33.5)	6 (28.5)	20 (21)	35 (27)	55 (24)	(29)
ヘ	3 (7.5)	4 (7.5)	7 (7.5)	2 (2.1)	3 (7.5)	5 (7.4)	5 (7.4)	7 (7.5)	12 (7.5)	1	11 (11)	6 (5)	17 (8)	(10)
計	40	53	93	<sup>[2]</sup> 30	<sup>[1]</sup> 41	<sup>[3]</sup> 71	<sup>[2]</sup> 70	<sup>[1]</sup> 94	<sup>[3]</sup> 164	21	97	129	226	2254

3.3

人のくらし方は、いろいろですが、右にあげるもののうちで、あなたの気持ちに、いちばんちかいは、どれですか。

- (イ) いっしょうけんめいに働いて、金持になる。
- (ロ) まじめに勉強して、名をあげる。
- (ハ) 金や名譽を考えないで、自分のこのみにあった生活をする。
- (ニ) その日その日を、のんきにくらす。
- (ホ) 世の中の不正なことをおしのかけて、清く正しくくらす。
- (ヘ) 自分のことを考えないで、社会のためにつくす。

表 3:4

選 択 肢	奄 美 大 島										本 土			全 国
	農 村			市 街 地			合 計				男	女	計	
	男	女	計	男	女	計	男	女	Na	NN				
イ	5 (12.2)	7 (13.5)	12 (12.9)	2 (7.1)	1 (2.5)	3 (4.4)	7 (10.1)	8 (8.7)	15 (9.3)	1 (4.5)	14 (14)	24 (19)	38 (17)	48 (24)
ロ	19 (46.3)	15 (28.8)	34 (36.6)	<sup>[2]</sup> 10 (28.6)	12 (30.0)	<sup>[2]</sup> 22 (29.4)	<sup>[2]</sup> 29 (39.6)	27 (29.3)	<sup>[2]</sup> 56 (33.5)	6 (27.3)	41 (42)	48 (37)	89 (39)	110 (55)
ハ	13 (31.7)	13 (25.0)	26 (28.0)	16 (57.1)	<sup>[1]</sup> 21 (50.0)	<sup>[1]</sup> 37 (52.9)	29 (42.0)	<sup>[1]</sup> 34 (35.9)	<sup>[1]</sup> 63 (38.5)	11 (50.0)	37 (38)	45 (35)	82 (36)	44 (22)
ニ	4 (9.8)	17 (32.7)	21 (22.6)	2 (7.1)	7 (17.5)	9 (13.2)	6 (8.7)	24 (26.1)	30 (18.6)	4 (18.2)	5 (5)	12 (9)	17 (8)	
計	41	52	93	<sup>[2]</sup> 30	<sup>[1]</sup> 41	<sup>[3]</sup> 71	<sup>[2]</sup> 71	<sup>[1]</sup> 93	<sup>[3]</sup> 164	22	97	129	226	200

3.4 「今日では、教養のある人や、信仰のふかい人よりも、経済力や、権力をもつ人が、えらい」という意見について、どう思いますか。

(イ) 賛成です。  
 (ロ) 反対です。  
 (ハ) いちがいには、いえません。  
 (ニ) わかりません。

表 3:5

選 択 肢	奄 美 大 島										本 土			全 国
	農 村			市 街 地			合 計				男	女	計	
	男	女	計	男	女	計	男	女	Na	NN				
イ	27 (65.9)	26 (49.1)	53 (56.4)	18 (60.7)	30 (75.0)	<sup>[1]</sup> 48 (69.1)	<sup>[1]</sup> 45 (63.8)	56 (60.2)	<sup>[1]</sup> 101 (61.7)	13 (59.1)	64 (66)	93 (72)	157 (70)	118 (59)
ロ	2 (4.9)	8 (15.1)	10 (10.6)	1 (3.6)	0	1 (1.5)	3 (4.3)	8 (8.6)	11 (6.8)	1 (4.5)	7 (7)	2 (2)	9 (4)	46 (23)
ハ	10 (24.4)	9 (17.0)	19 (20.2)	<sup>[1]</sup> 11 (35.7)	<sup>[1]</sup> 10 (22.5)	<sup>[2]</sup> 21 (27.9)	<sup>[1]</sup> 21 (30.0)	<sup>[1]</sup> 19 (19.4)	<sup>[2]</sup> 40 (23.5)	7 (31.8)	20 (21)	29 (22)	49 (22)	36 (18)
ニ	2 (4.9)	10 (18.9)	12 (12.8)	0	1 (2.5)	1 (1.5)	2 (2.9)	11 (11.8)	13 (8.0)	1 (4.5)	6 (6)	5 (4)	11 (5)	(0)
計	41	53	94	<sup>[2]</sup> 30	<sup>[1]</sup> 41	<sup>[3]</sup> 71	<sup>[2]</sup> 71	<sup>[1]</sup> 94	<sup>[3]</sup> 165	22	97	129	226	200

3.5 「他人などというものは、あてにならないもので、つまるところ頼みになるのは、自分である」という意見について、どう思いますか。

(イ) 賛成です。  
 (ロ) 反対です。  
 (ハ) いちがいにはいえません。  
 (ニ) わかりません。



表 3:6:1

選択肢	奄 美 大 島										本 土			岐 阜 県
	農 村			市 街 地			合 計				男	女	計	
	男	女	計	男	女	計	男	女	Na	NN				
イ	39 (95.1)	42 (79.2)	81 (86.2)	[2] 28 (92.9)	[1] 33 (92.5)	[3] 66 (92.6)	[2] 67 (94.2)	[1] 80 (84.9)	[3] 147 (88.8)	21 (95.5)	89 (92)	116 (90)	205 (91)	645 (79)
ロ	0	3 (5.7)	3 (3.2)	0	0	0	0	3 (3.2)	3 (1.9)	0	2 (2)	1 (1)	3 (1)	90 (11)
ハ	2 (4.9)	8 (15.1)	10 (10.6)	2 (7.1)	3 (7.5)	5 (7.4)	4 (5.8)	11 (11.8)	15 (9.3)	1 (4.5)	6 (6)	12 (9)	18 (8)	65 (8)
計	41	53	94	[2] 30	[1] 41	[3] 71	[2] 71	[1] 94	[3] 165	22	97	129	226	817

3.6

「欧米の文化をとり入れるについても、日本の風俗やしきたりのうちで、よいものは、のこすべきである」という意見について、どう思いますか。

- (イ) 賛成です。  
次のうち、どんなものについて、のこしたらよいでしょうか。  
生活のしかた、和服、住居、芸術、作法、  
道徳、家族制度、習慣、その他( )
- (ロ) 反対です。
- (ハ) わかりません。

表 3:6:2 保存すべき風俗、しきたりの順位

選択肢	奄 美 大 島										本 土			岐 阜 県 N=407
	農 村			市 区			合 計				男	女	計	
	男	女	計	男	女	計	男	女	Na	NN				
生活様式	7.5	7.5	8	6.5	[1] 8	[1] 8	8	[1] 8	8	7.5	6	3	3	6
和 服	5	1	1	2.5	1	1	2.5	1	1	3.5	8	2	5	4.5
任 居	5	7.5	6.5	6.5	7	7	6.5	7	7	7.5	5	6.5	6	7
芸 術	5	4	4	5	6	6	4.5	6	6	5.5	3	5	4	2
礼儀作法	2.5	2	3	8	5	5	6.5	2	3.5	1	2	1	1	4.5
道 徳	1	3	2	[1] 1	3	[1] 2	[1] 1	3	2	2	1	4	2	—
家族制度	2.5	5	5	[1] 4	3	[1] 4	[1] 2.5	4	3.5	5.5	7	6.5	7	—
習 慣	7.5	6	6.5	2.5	3	3	4.5	5	5	3.5	4	8	8	3
そ の 他	(3)	(4)	(7)	(0)	(0)	(0)	(3)	(4)	(7)	(1)	(2)	(4)	(6)	1
計	(81)	(104)	(185)	[2] (67)	[1] 79	[3] (146)	[2] (148)	[1] (183)	[3] 331	(40)	(253)	(333)	(586)	

注 1 “その他”及び計の欄のカッコ内の数値は度数を示す。  
 2 “その他”の欄の岐阜の場合の1は順位を示す。  
 3 [ ]印は本土出身者を示す。

表 3・7

選択肢	奄 美 大 島										本 土			全 国
	農 村			市 街 地			合 計				男	女	計	
	男	女	計	男	女	計	男	女	Na	NN				
イ	5 (12.5)	14 (26.9)	19 (20.7)	5 (17.9)	11 (27.5)	16 (23.5)	10 (14.7)	25 (27.2)	35 (21.9)	3 (13.6)	5 (5)	20 (16)	25 (11)	(18)
ロ	4 (10.0)	8 (15.4)	12 (13.0)	[1] 4 (10.7)	[1] 6 (12.5)	[2] 10 (11.8)	[1] 8 (10.3)	[1] 14 (14.1)	[2] 22 (12.5)	3 (13.6)	23 (24)	15 (12)	38 (17)	(69)
ハ	26 (65.0)	16 (30.8)	42 (45.7)	13 (46.4)	20 (50.0)	33 (48.5)	39 (57.4)	36 (39.1)	75 (46.9)	12 (54.5)	49 (50)	67 (52)	116 (51)	(2)
ニ	4 (10.0)	10 (19.2)	14 (15.2)	[1] 7 (21.4)	4 (10.0)	[1] 11 (14.4)	[1] 11 (14.7)	14 (15.2)	[1] 25 (15.0)	4 (18.2)	17 (18)	23 (18)	40 (18)	(11)
ホ	1 (2.5)	4 (7.7)	5 (5.4)	1 (3.6)	0	1 (1.5)	2 (2.9)	4 (4.3)	6 (3.8)	0	3 (3)	4 (3)	7 (3)	
計	40	52	92	[2] 30	[1] 41	[3] 71	[2] 70	[1] 93	[3] 163	22	97	129	226	2254

3.7

世の中の人たちの、行動や生活のしかたをながめると、次のように、わけられます。あなたは、これらのうち、どれにちかい行動や生活のしかたをしていますか。

- (イ) 父母、祖父母などがしてきたしかたに、したがっている。
- (ロ) 近所や地域の人たちのしかたにしたがっている。
- (ハ) 自分で考えて、自分の心になっとくのゆくしかたで、おこなっている。

- (イ) です。
- (ロ) です。
- (ハ) です。
- (ニ) ことと場合に、よります。
- (ホ) わからない。

表 4:1

選択肢	奄 美 大 島										本 土			全 国
	農 村			市 街 地			合 計				男	女	計	
	男	女	計	男	女	計	男	女	Na	NN				
イ	6 (14.6)	2 (3.8)	8 (8.6)	5 (17.9)	2 (5.0)	7 (10.3)	11 (15.9)	4 (4.3)	15 (9.3)	3 (13.6)	13 (13)	18 (14)	31 (14)	406 (18)
ロ	28 (68.3)	18 (34.7)	46 (49.5)	[2] 17 (53.6)	[1] 18 (42.5)	[3] 35 (47.1)	[2] 45 (62.3)	[1] 36 (38.0)	[3] 81 (48.4)	13 (59.1)	56 (58)	59 (46)	115 (51)	1555 (69)
ハ	4 (9.8)	9 (17.3)	13 (14.0)	5 (17.9)	9 (22.5)	14 (20.6)	9 (13.0)	18 (20.0)	27 (16.8)	3 (13.6)	17 (17)	29 (22)	46 (20)	45 (2)
ニ	3 (7.3)	23 (44.2)	26 (28.0)	3 (10.7)	12 (30.0)	15 (22.1)	6 (8.7)	35 (38.0)	41 (25.5)	3 (13.6)	11 (11)	22 (17)	33 (15)	248 (11)
計	41	52	93	[2] 30	[1] 41	[3] 71	[2] 71	[1] 93	[3] 164	22	97	129	226	2254

4.1

工場や会社の労働組合について、あなたは次のうち、どちらにちかい意見をもっていますか。

- (イ) 労働組合は、労働者と資本家を対立させるから、このましくない。
- (ロ) 労働者が組合をつくり、自分たちの権利をまもるのは、このまじいことである。

- (イ) にちかい。
- (ロ) にちかい。
- (ハ) どちらともいえない。
- (ニ) わからない。

表 4:2

選択肢	奄美大島										本土			全国
	農村			市街地			合計				男	女	計	
	男	女	計	男	女	計	男	女	Na	NN				
イ	32 (78.0)	32 (60.4)	64 (68.1)	[2] 22 (71.4)	[1] 33 (80.0)	[3] 55 (76.5)	[2] 54 (75.4)	[1] 65 (68.7)	[3] 119 (71.6)	16 (72.7)	76 (78)	90 (70)	166 (73)	1469 (62)
ロ	9 (22.0)	20 (37.7)	29 (30.9)	7 (25.0)	8 (20.0)	15 (22.1)	16 (23.2)	28 (30.1)	44 (27.2)	6 (27.3)	16 (16)	36 (28)	52 (23)	758 (32)
ハ	0	1 (1.9)	1 (1.1)	1 (3.6)	0	1 (1.5)	1 (1.4)	1 (1.1)	2 (1.2)	0	2 (2)	1 (1)	3 (1)	118 (5)
ニ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3 (3)	2 (2)	5 (2)	
計	41	53	94	[2] 30	[1] 41	[3] 71	[2] 71	[1] 94	[3] 165	22	97	129	226	2369

4.2

国会議員の選挙が行なわれるとき、あなたは、ふつう、どうしていますか。

- (イ) なにをおいても、投票する。  
 (ロ) なるべく投票する。  
 (ハ) 投票しないことが多い。  
 (ニ) 投票したことがない。

表 5:1

選択肢	奄美大島										本土			全国
	農村			市街地			合計				男	女	計	
	男	女	計	男	女	計	男	女	Na	NN				
イ	26 (63.4)	25 (47.2)	51 (54.3)	[1] 15 (50.0)	[1] 21 (50.0)	[2] 36 (50.0)	[1] 41 (58.0)	[1] 46 (48.4)	[2] 87 (52.5)	10 (45.5)	49 (51)	56 (43)	105 (46)	361 (16)
ロ	6 (14.6)	19 (35.8)	25 (26.6)	5 (17.9)	11 (27.5)	16 (23.5)	11 (15.9)	30 (32.3)	41 (25.3)	6 (27.3)	26 (27)	38 (29)	64 (28)	1420 (63)
ハ	6 (14.6)	6 (11.3)	12 (12.8)	[1] 9 (28.6)	8 (20.0)	[1] 17 (23.5)	[1] 15 (20.3)	14 (15.1)	[1] 29 (17.3)	5 (22.7)	21 (22)	34 (26)	55 (24)	338 (15)
ニ	3 (7.3)	3 (5.7)	6 (6.4)	1 (3.6)	1 (2.5)	2 (2.9)	4 (5.8)	4 (4.3)	8 (4.9)	1 (4.5)	1 (1)	1 (1)	2 (1)	135 (6)
計	41	53	94	[2] 30	[1] 41	[3] 71	[2] 71	[1] 94	[3] 165	22	97	129	226	2254

5.1

子どもをそだてるについて、幼稚園や小学校のころから、のびのびと自由にそだてるのと、きびしくしつけるのと、どちらのほうがよいと思いますか。

- (イ) のびのびとそだてるのがよい。  
 (ロ) きびしくそだてるのがよい。  
 (ハ) どちらともいえない。  
 (ニ) わからない。

表 5:2

選択肢	奄 美 大 島										本 土			全 国
	農 村			市 街 地			合 計				男	女	計	
	男	女	計	男	女	計	男	女	Na	NN				
イ	11 (26.8)	27 (50.9)	38 (40.4)	9 (33.3)	17 (42.5)	26 (38.2)	20 (30.0)	44 (47.3)	64 (39.5)	3 (13.6)	25 (26)	30 (23)	55 (24)	811 (36)
ロ	24 (58.5)	19 (35.8)	43 (45.7)	[1] 17 (59.3)	[1] 19 (45.0)	[2] 36 (50.0)	[1] 41 (58.0)	[1] 38 (39.8)	[2] 79 (47.5)	16 (72.7)	58 (60)	78 (60)	136 (60)	969 (43)
ハ	1 (2.4)	3 (5.7)	4 (4.3)	[1] 3 (7.4)	4 (10.0)	[1] 7 (8.8)	[1] 4 (4.3)	7 (7.5)	[1] 11 (6.2)	2 (9.1)	10 (10)	18 (14)	28 (12)	293 (13)
ニ	5 (12.2)	4 (7.5)	9 (9.6)	1 (3.7)	1 (2.5)	2 (2.9)	6 (8.7)	5 (5.4)	11 (6.8)	1 (4.5)	4 (4)	3 (2)	7 (3)	180 (8)
計	41	53	94	[3] 30	[1] 41	[3] 71	[2] 71	[1] 94	[3] 165	22	97	129	226	2254

5.2

家庭で子どもを教育していくのに人から笑われたり、恥をかいたりしないようにと教えるのと、他人の評判や世間態のことよりも、自分で深く考えて、自分の本心に従うようにと教えるのと、どちらがたいせつだと思いますか。

- (イ) 笑われたり、恥をかいたりするなど教える。
- (ロ) 自分の本心に従えと、教える。
- (ハ) どちらともいえない。
- (ニ) わからない。

表 5:3

選択肢	奄 美 大 島										本 土			全 国
	農 村			市 街 地			合 計				男	女	計	
	男	女	計	男	女	計	男	女	Na	NN				
イ	34 (85.0)	37 (71.2)	71 (77.2)	[2] 23 (75.0)	[1] 28 (67.5)	[3] 51 (70.6)	[2] 57 (80.9)	[1] 65 (69.6)	[3] 122 (74.4)	15 (68.2)	68 (70)	80 (62)	148 (65)	(69)
ロ	2 (5.0)	2 (3.8)	4 (4.3)	1 (3.6)	0	1 (1.5)	3 (4.4)	2 (2.2)	5 (3.1)	0	2 (2)	3 (2)	5 (2)	24 (12)
ハ	3 (7.5)	8 (15.4)	11 (12.0)	3 (10.7)	9 (22.5)	12 (17.6)	6 (8.8)	17 (18.5)	23 (14.4)	6 (27.3)	23 (24)	38 (29)	61 (27)	(20)
ニ	1 (2.5)	5 (9.6)	6 (6.5)	3 (10.7)	4 (10.0)	7 (10.3)	4 (5.9)	9 (9.8)	13 (8.1)	1 (4.5)	4 (4)	8 (6)	12 (5)	(0)
計	40	52	92	[2] 30	[1] 41	[3] 71	[2] 70	[1] 93	[3] 163	22	97	129	226	200

5.3

「このごろの青年は、あまりにも、柔弱になっている。もっときびしい鍛錬が必要だ」という意見について、どう思いますか。

- (イ) 賛成です。
- (ロ) 反対です。
- (ハ) いちがいには、いえません。
- (ニ) わかりません。

表 5:4

選択肢	奄美大島										本土			全国
	農村			市街地			合計				男	女	計	
	男	女	計	男	女	計	男	女	Na	NN				
イ	20 (48.8)	33 (64.3)	53 (56.4)	[1] 14 (46.4)	23 (59.0)	[1] 37 (53.7)	[1] 34 (47.8)	56 (60.9)	[1] 90 (55.3)	10 (45.5)	43 (44)	60 (47)	103 (46)	1465 (65)
ロ	9 (22.0)	6 (11.3)	15 (16.0)	4 (14.3)	[1] 1 (2.6)	[1] 5 (6.0)	13 (18.8)	[1] 7 (6.5)	[1] 20 (11.8)	4 (18.2)	26 (27)	37 (29)	63 (28)	(24)
ハ	10 (24.4)	6 (11.3)	16 (17.0)	[1] 11 (35.7)	12 (30.8)	[1] 23 (32.9)	[1] 21 (29)	18 (19.6)	[1] 39 (23.6)	6 (27.3)	24 (25)	25 (19)	49 (22)	203 (9)
ニ	2 (4.9)	8 (15.1)	10 (10.6)	1 (3.6)	4 (10.3)	5 (7.3)	3 (4.3)	12 (12.4)	15 (9.3)	2 (9.1)	4 (4)	7 (5)	11 (5)	(2)
計	41	53	94	[2] 30	[1] 40	[3] 70	[2] 71	[1] 93	[3] 164	22	97	129	226	2254

5.4

小学生ぐらいの子どもをそだてるとき、「お金は人にとって、いちばんたいせつなものだと、教えるべきである」という意見について、どう思いますか。

- (イ) 賛成です。
- (ロ) 反対です。
- (ハ) いちがいには、いえません。
- (ニ) わかりません。

表 5:5

選択肢	奄美大島										本土			岐阜
	農村			市街地			合計				男	女	計	
	男	女	計	男	女	計	男	女	Na	NN				
イ	18 (43.9)	17 (32.1)	35 (41.7)	[1] 17 (57.1)	[1] 19 (45.0)	[2] 36 (50.7)	[1] 35 (50.0)	[1] 36 (38.0)	[2] 71 (42.9)	13 (59.1)	51 (53)	62 (48)	113 (50)	(45)
ロ	16 (39.0)	14 (26.4)	30 (35.7)	5 (17.9)	9 (22.5)	14 (20.9)	21 (30.9)	23 (25.0)	44 (27.3)	2 (9.1)	(25) (26)	40 (31)	65 (29)	(25)
ハ	4 (9.8)	7 (13.2)	11 (13.1)	3 (10.7)	2 (5.0)	5 (7.5)	7 (10.3)	9 (20.7)	16 (10.0)	2 (9.1)	6 (6)	6 (5)	12 (5)	(12)
ニ	2 (4.9)	5 (9.4)	7 (8.3)	[1] 2 (3.6)	4 (10.0)	[1] 6 (9.0)	[1] 4 (4.4)	9 (6.5)	[1] 13 (7.5)	1 (4.5)	3 (3)	5 (4)	8 (4)	(7)
ホ	1 (2.4)	10 (18.9)	11 (13.1)	2 (7.1)	7 (17.5)	9 (13.5)	3 (4.4)	17 (18.5)	20 (12.4)	4 (18.2)	12 (12)	16 (12)	28 (12)	(10)
計	41	53	84	[2] 29	[1] 41	[3] 70	[2] 70	[2] 94	[3] 164	22	97	129	226	402

5.5

あなたは、中学校の男女共学についてどう思いますか。右の(イ)(ロ)(ハ)(ニ)のうち、あなたの意見に、もっとも近いものを、ひとつらんで下さい。

- (イ) 男女相互の理解を、ふかめるためにつづけるべきである。
- (ロ) いままで、うまくやってきているから、つづけていってよい。
- (ハ) 問題が多いから、考えなおすべきである。
- (ニ) やめたほうがよい。
- (ホ) わからない。

表 5:6

選択肢	奄 美 大 島										本 土			岐 阜
	農 村			市 街 地			合 計				男	女	計	
	男	女	計	男	女	計	男	女	Na	NN				
イ	18 (43.9)	16 (30.2)	34 (36.2)	<sup>[1]</sup> 16 (53.6)	<sup>[1]</sup> 17 (40.0)	<sup>[2]</sup> 33 (45.6)	<sup>[1]</sup> 34 (47.8)	<sup>[1]</sup> 33 (34.4)	<sup>[2]</sup> 67 (40.1)	11 (50.0)	42 (43)	51 (40)	93 (41)	(32)
ロ	10 (24.4)	6 (11.3)	16 (17.0)	5 (17.9)	9 (22.5)	14 (20.6)	15 (21.7)	15 (16.1)	30 (18.5)	2 (9.1)	20 (21)	26 (20)	46 (20)	(15)
ハ	6 (14.6)	7 (13.2)	13 (13.8)	5 (17.9)	3 (7.5)	8 (11.8)	11 (15.9)	10 (10.8)	21 (13.0)	2 (9.1)	8 (8)	14 (11)	22 (9)	80 (20)
ニ	2 (4.9)	7 (13.2)	9 (9.6)	<sup>[1]</sup> 2 (3.6)	4 (10.0)	<sup>[1]</sup> 6 (7.4)	<sup>[1]</sup> 4 (4.3)	11 (11.8)	<sup>[1]</sup> 15 (8.6)	2 (9.1)	14 (14)	11 (9)	25 (11)	(17)
ホ	5 (12.2)	17 (32.1)	22 (23.4)	2 (7.1)	8 (20.0)	10 (14.7)	7 (10.1)	25 (26.9)	32 (19.8)	5 (22.7)	13 (13)	27 (21)	40 (18)	(15)
計	41	53	94	<sup>[2]</sup> 30	<sup>[1]</sup> 41	<sup>[3]</sup> 71	<sup>[2]</sup> 71	<sup>[1]</sup> 94	<sup>[3]</sup> 165	22	97	129	226	402

5.6

あなたは高等学校の男女共学について、どう思いまか。右の(イ)(ロ)(ハ)(ニ)のうち、あなたの意見に、いちばん近いものを、ひとつえらんで下さい。

- (イ) 男女相互の理解をふかめるために、つづけるべきである。
- (ロ) いままで、うまくやってくるから、つづけていってよい。
- (ハ) 問題が多いから、考えなおすべきである。
- (ニ) やめたほうがよい。
- (ホ) わからない。

表 6:1

選択肢	奄 美 大 島										本 土			全 国
	農 村			市 街 地			合 計				男	女	計	
	男	女	計	男	女	計	男	女	Na	NN				
イ	10 (24.4)	12 (22.6)	22 (23.4)	<sup>[2]</sup> 12 (35.7)	11 (27.5)	<sup>[2]</sup> 23 (30.9)	<sup>[2]</sup> 22 (30.0)	23 (24.7)	<sup>[2]</sup> 45 (26.5)	5 (22.7)	26 (27)	33 (26)	59 (26)	90 (45)
ロ	6 (14.6)	7 (13.2)	13 (13.8)	1 (3.6)	6 (15.0)	7 (10.3)	7 (10.1)	13 (14.0)	20 (12.3)	0	22 (23)	23 (18)	45 (20)	(18)
ハ	24 (58.5)	30 (56.6)	54 (57.4)	16 (57.1)	<sup>[1]</sup> 21 (50.0)	<sup>[1]</sup> 37 (52.9)	40 (58.0)	<sup>[1]</sup> 51 (53.8)	<sup>[1]</sup> 91 (55.6)	14 (63.6)	43 (44)	67 (52)	110 (49)	74 (37)
ニ	1 (2.4)	4 (7.5)	5 (5.3)	1 (3.6)	3 (7.5)	4 (5.9)	2 (2.9)	7 (7.5)	9 (5.6)	3 (13.6)	6 (6)	6 (5)	12 (5)	(0)
計	41	53	94	<sup>[2]</sup> 30	<sup>[1]</sup> 41	<sup>[3]</sup> 71	<sup>[2]</sup> 71	<sup>[1]</sup> 94	<sup>[3]</sup> 165	22	97	129	226	200

6.1

「渡る世間に鬼はいない」という考え方と、「人をみたら泥棒と思え」という二つの考え方のうち、あなたは、どちらの意見に賛成しますか。

- (イ) 「渡る世間に鬼はいない」と思う。
- (ロ) 「人を見たら泥棒と思う」べきである
- (ハ) 人と場合による。
- (ニ) わからない。

表 6:2

選択肢	奄 美 大 島										本 土			東 京 都
	農 村			市 街 地			合 計				男	女	計	
	男	女	計	男	女	計	男	女	Na	NN				
イ	4 (9.8)	4 (7.5)	8 (8.5)	2 (7.1)	2 (5.0)	4 (5.9)	6 (8.7)	6 (6.5)	12 (7.4)	1 (4.5)	15 (15)	21 (16)	36 (16)	(16)
ロ	32 (78.0)	31 (58.5)	63 (67.0)	<sup>[2]</sup> 25 (82.1)	<sup>[1]</sup> 29 (70.0)	<sup>[3]</sup> 54 (75.0)	<sup>[2]</sup> 57 (79.7)	<sup>[1]</sup> 60 (63.4)	<sup>[3]</sup> 117 (70.4)	19 (86.4)	72 (74)	94 (73)	166 (73)	(69)
ハ	5 (12.5)	18 (34.0)	23 (24.5)	3 (10.7)	10 (25.0)	13 (19.1)	8 (11.6)	28 (30.1)	36 (22.2)	2 (91)	10 (10)	14 (11)	24 (11)	(7)
計	41	53	94	<sup>[2]</sup> 30	<sup>[1]</sup> 41	<sup>[3]</sup> 71	<sup>[2]</sup> 71	<sup>[1]</sup> 94	<sup>[3]</sup> 165	22	97	129	226	350

6.2

次のような、二つの会社があります。あなたがつとめるとすれば、どちらがよいと思いますか。

- (イ) その社長や上役の人たちは、自分と部下の関係は、ただ仕事の上だけであると、考えている。  
 (ロ) その社長や上役の人たちは、自分たちは、部下の親がわりともいえると考えている。

- (イ) がよい。  
 (ロ) がよい。  
 (ハ) わからない。

表 6:3

選択肢	奄 美 大 島										本 土			全 国
	農 村			市 街 地			合 計				男	女	計	
	男	女	計	男	女	計	男	女	Ne	NN				
イ	8 (19.5)	19 (37.3)	27 (29.3)	9 (32.1)	12 (30.0)	21 (31.3)	17 (25.0)	31 (34.1)	48 (30.2)	9 (40.9)	19 (20)	46 (36)	65 (29)	(27)
ロ	12 (29.3)	18 (35.3)	30 (32.6)	10 (35.7)	19 (47.5)	29 (43.3)	22 (32.4)	37 (40.7)	59 (37.1)	9 (40.9)	53 (55)	43 (33)	96 (42)	(41)
ハ	21 (51.2)	14 (27.4)	35 (38.0)	<sup>[2]</sup> 0 (28.6)	<sup>[1]</sup> 10 (22.5)	<sup>[3]</sup> 20 (25.4)	<sup>[2]</sup> 31 (42.6)	<sup>[1]</sup> 24 (25.3)	<sup>[3]</sup> 55 (32.7)	4 (18.2)	25 (26)	40 (31)	65 (29)	(23)
計	41	51	92	<sup>[2]</sup> 29	<sup>[1]</sup> 41	<sup>[3]</sup> 70	<sup>[2]</sup> 70	<sup>[1]</sup> 92	<sup>[3]</sup> 162	22	97	129	226	2254

6.3

自然と人間の関係について、あなたの意見は、右の (イ) (ロ) (ハ) のうち、どれに近いですか。

- (イ) 人間が幸福になるためには、人間は自然にさからわないで、それに従うべきである。  
 (ロ) 人間が幸福になるためには、人間は自然を利用すべきである。  
 (ハ) 人間が幸福になるためには、人間は自然にむかっていって、それを征服すべきである。

表 6:4

選択肢	奄 美 大 島										本 土			全 国
	農 村			市 街 地			合 計				男	女	計	
	男	女	計	男	女	計	男	女	Na	NN				
イ	17 (43.6)	21 (39.6)	38 (41.3)	13 (46.4)	15 (37.5)	28 (41.2)	30 (44.1)	36 (38.7)	66 (41.3)	8 (36.4)	42 (43)	65 (50)	107 (47)	32 (16)
ロ	14 (35.9)	10 (18.9)	24 (26.1)	[2] 10 (28.6)	[1] 9 (20.0)	[3] 19 (23.5)	[2] 24 (32.4)	[1] 19 (19.4)	[3] 43 (25.0)	5 (22.7)	35 (36)	27 (21)	62 (27)	142 (71)
ハ	5 (12.8)	11 (20.8)	16 (17.4)	6 (21.4)	11 (27.5)	17 (25.0)	11 (16.2)	22 (23.7)	33 (20.6)	7 (31.8)	16 (16)	27 (21)	43 (19)	(14)
ニ	3 (7.7)	11 (20.8)	14 (15.2)	1 (3.6)	6 (15.0)	7 (10.3)	4 (5.9)	17 (18.3)	21 (13.1)	2 (9.1)	4 (4)	10 (8)	14 (6)	(0)
計	39	53	92	[2] 30	[1] 41	[3] 71	[2] 69	[1] 94	[3] 163	22	97	129	226	200

6.4

「わるい行いをすれば、たとえ、その人には、何事もなかったとしても、その子孫に、必ず報いがあらわれる」という意見について、あなたは どう 思 います か。

- (イ) そのとおりだと思う。
- (ロ) そんなことはないと思う。
- (ハ) どちらとも、いえない。
- (ニ) わからない。

表 6:5

選択肢	奄 美 大 島										本 土			全(東 京) 国
	農 村			市 街 地			合 計				男	女	計	
	男	女	計	男	女	計	男	女	Na	NN				
イ	0 (0)	2 (3.8)	2 (2.2)	1 (3.6)	3 (7.5)	4 (5.4)	1 (1.5)	5 (5.4)	6 (3.7)	0	10 (10)	11 (9)	21 (9)	(12)
ロ	12 (30)	27 (50.9)	39 (41.9)	[2] 11 (32.1)	20 (50.0)	[2] 31 (42.6)	[2] 23 (30.9)	47 (50.5)	[2] 70 (42.2)	9 (40.9)	49 (51)	73 (57)	122 (54)	(50)
ハ	28 (70)	21 (39.6)	49 (52.7)	18 (64.3)	[1] 15 (35.0)	[1] 33 (47.1)	46 (67.6)	[1] 36 (37.6)	[1] 82 (50.3)	12 (54.5)	37 (38)	42 (33)	79 (35)	(33)
ニ	0 (0)	3 (5.7)	3 (3.2)	0	3 (7.5)	3 (4.4)	0	6 (6.5)	6 (3.7)	1 (4.5)	1 (1)	3 (2)	4 (2)	(3)
計	40	53	93	[2] 30	[1] 41	[3] 71	[2] 70	[1] 94	[3] 164	22	97	129	226	350

6.5

しょうちゅうやビールをのんで、よっぱらい、常識にはずれた行動をする人をみうけます。それについて、あなたは、どう 思 います か。

- (イ) 許します。
- (ロ) 許せません。
- (ハ) 場合によります。
- (ニ) わかりません。



表 7:1

選 択 肢	奄 美 大 島										本 土			岐 阜	
	農 村			市 街 地			合 計				男	女	計	男	女
	男	女	計	男	女	計	男	女	Na	NN					
イ	19 (46.3)	27 (50.9)	46 (48.9)	2 <sup>[1]</sup> 14 (42.9)	19 (48.7)	2 <sup>[2]</sup> 33 (46.3)	2 <sup>[2]</sup> 33 (44.9)	46 (50.0)	2 <sup>[2]</sup> 79 (47.8)	6 (27.6)	46 (47)	68 (53)	114 (50)	261 (67)	269 (63)
ロ	3 (7.3)	5 (9.4)	8 (8.5)	3 (10.7)	4 (10.3)	7 (10.4)	6 (8.7)	9 (9.8)	15 (9.3)	3 (13.6)	7 (7)	8 (6)	15 (7)	(5)	(10)
ハ	18 (43.9)	17 (32.1)	35 (37.2)	12 (42.9)	1 <sup>[1]</sup> 16 (38.5)	1 <sup>[1]</sup> 28 (40.3)	30 (43.5)	1 <sup>[1]</sup> 33 (34.8)	1 <sup>[1]</sup> 63 (38.5)	11 (50.0)	42 (43)	49 (38)	91 (40)	86 (22)	85 (20)
ニ	1 (2.4)	4 (7.5)	5 (5.3)	1 (3.6)	1 (2.5)	2 (3.0)	2 (2.9)	5 (5.4)	7 (4.3)	2 (9.1)	2 (2)	4 (3)	6 (3)	(6)	(7)
計	41	53	94	2 <sup>[2]</sup> 30	1 <sup>[1]</sup> 40	3 <sup>[3]</sup> 70	2 <sup>[2]</sup> 71	1 <sup>[1]</sup> 93	3 <sup>[3]</sup> 164	22	97	129	226	390	427

7.1

ひとくちにいえば、男と女では、どちらのほうに、楽しみが多いと思いますか。

- (イ) 男に多い。  
 (ロ) 女に多い。  
 (ハ) どちらともいえない。  
 (ニ) わからない。

表 7:2

選 択 肢	奄 美 大 島										本 土			岐 阜	
	農 村			市 街 地			合 計				男	女	計	男	女
	男	女	計	男	女	計	男	女	Na	NN					
イ	7 (17.1)	13 (24.5)	20 (21.3)	1 <sup>[1]</sup> 8 (25.0)	1 <sup>[1]</sup> 7 (15.0)	2 <sup>[2]</sup> 15 (19.1)	1 <sup>[1]</sup> 15 (20.3)	1 <sup>[1]</sup> 20 (20.4)	2 <sup>[2]</sup> 35 (20.4)	2 (9.1)	33 (34)	24 (19)	57 (25)	183 (47)	154 (36)
ロ	14 (34.1)	26 (49.1)	40 (42.6)	1 <sup>[1]</sup> 13 (42.9)	17 (42.5)	1 <sup>[1]</sup> 30 (42.6)	1 <sup>[1]</sup> 27 (37.7)	43 (46.2)	1 <sup>[1]</sup> 70 (42.6)	8 (36.4)	25 (26)	53 (41)	78 (35)	(23)	(38)
ハ	18 (43.9)	9 (17.0)	27 (28.7)	9 (32.1)	17 (42.5)	26 (38.2)	27 (39.1)	26 (28.0)	53 (32.7)	11 (50.0)	37 (38)	45 (35)	82 (36)	101 (26)	94 (22)
ニ	2 (4.9)	5 (9.4)	7 (7.4)	0	0	0	2 (2.9)	5 (5.4)	7 (4.3)	1 (4.5)	2 (2)	7 (5)	9 (4)	(4)	(4)
計	41	53	94	2 <sup>[2]</sup> 32	1 <sup>[1]</sup> 41	3 <sup>[3]</sup> 71	2 <sup>[2]</sup> 71	1 <sup>[1]</sup> 94	3 <sup>[3]</sup> 165	22	97	129	226	390	427

7.2

ひとくちにいえば、男と女では、どちらのほうに、苦勞が多いと思いますか。

- (イ) 男に多い  
 (ロ) 女に多い。  
 (ハ) どちらともいえない。  
 (ニ) わからない。

表 7:3

選 択 肢	奄 美 大 島										本 土		
	農 村			市 街 地			合 計				男	女	計
	男	女	計	男	女	計	男	女	Na	NN			
イ	2 (4.9)	1 (1.9)	3 (3.2)	0	[1] 2 (2.5)	[1] 2 (1.5)	2 (2.9)	[1] 3 (2.2)	[1] 5 (2.5)	1 (4.5)	10 (10)	6 (5)	16 (7)
ロ	33 (80.5)	37 (71.2)	70 (75.3)	[2] 22 (71.4)	30 (75.0)	[2] 52 (73.5)	[2] 55 (76.8)	67 (72.8)	[2] 122 (74.5)	14 (63.6)	69 (71)	89 (69)	158 (70)
ハ	3 (7.3)	10 (19.2)	13 (14.0)	8 (28.6)	8 (20.0)	16 (23.5)	11 (15.9)	18 (20.0)	29 (18.0)	6 (27.3)	16 (16)	29 (22)	45 (20)
ニ	3 (7.3)	4 (7.7)	7 (7.5)	0	1 (2.5)	1 (1.5)	3 (4.3)	5 (5.4)	8 (5.0)	1 (4.5)	2 (2)	5 (4)	7 (3)
計	41	52	93	[2] 30	[1] 41	[3] 71	[2] 71	[1] 93	[3] 164	22	97	129	226

7.3

女性であっても、ちかごろは、お酒をのんだり、煙草をすうものが、多くなりました。このことについて、どう思いますか。

- (イ) 男性と同じに考えてよい。
- (ロ) 女性はなるべく、しないほうがよい。
- (ハ) 人や場合による。
- (ニ) わからない。

表 7:4

選 択 肢	奄 美 大 島										本 土			全 国	
	農 村			市 街 地			合 計				男	女	計	男	女
	男	女	計	男	女	計	男	女	Na	NN					
イ	31 (75.6)	37 (72.5)	68 (73.9)	[2] 28 (92.9)	[1] 32 (77.5)	[3] 60 (83.8)	[2] 59 (82.6)	[1] 69 (75.8)	[3] 128 (78.1)	16 (72.7)	84 (87)	102 (79)	186 (82)	(78)	(78)
ロ	3 (7.3)	2 (3.9)	5 (5.4)	1 (3.6)	3 (7.5)	4 (5.9)	4 (5.8)	5 (5.5)	9 (5.6)	2 (9.1)	9 (9)	10 (8)	19 (8)	(5)	(9)
ハ	6 (14.6)	6 (11.8)	12 (13.0)	1 (3.6)	6 (15.0)	7 (10.3)	7 (10.1)	12 (13.2)	19 (11.9)	3 (13.6)	4 (4)	14 (11)	18 (8)	(15)	(11)
ニ	1 (2.4)	6 (7.8)	7 (7.6)	0	0	0	1 (1.4)	6 (6.6)	7 (4.4)	1 (4.5)	0 (0)	3 (2)	3 (1)	(1)	(1)
計	41	51	92	[2] 30	[1] 41	[3] 71	[2] 71	[1] 92	[3] 163	22	97	129	226	684	765

7.4

「家庭の経済がゆるすなら、主婦はつとめに出るよりも、家にいて、家事をすべきである」という意見について、どう思いますか。

- (イ) 賛成です。
- (ロ) 反対です。
- (ハ) どちらともいえない。
- (ニ) わからない。

表 7:5

選 択 肢	奄 美 大 島										本 土		
	農 村			市 街 地			合 計				男	女	計
	男	女	計	男	女	計	男	女	Na	NN			
イ	2 (5.0)	0	2 (2.2)	5 (17.9)	3 (7.5)	8 (11.8)	7 (10.3)	3 (3.3)	10 (6.3)	2 (9.1)	3 (3)	7 (5)	10 (4)
ロ	9 (22.5)	22 (43.1)	31 (34.1)	8 (28.6)	12 (30.0)	20 (29.4)	17 (25.0)	34 (37.4)	51 (32.1)	5 (22.7)	22 (23)	39 (30)	61 (27)
ハ	8 (20.0)	11 (21.6)	19 (20.9)	<sup>[1]</sup> 4 (10.7)	5 (12.5)	<sup>[1]</sup> 9 (11.8)	<sup>[1]</sup> 12 (16.2)	16 (17.6)	28 (17.6)	3 (13.6)	12 (12)	19 (15)	31 (14)
ニ	19 (47.5)	15 (29.4)	34 (37.4)	<sup>[1]</sup> 12 (39.3)	<sup>[1]</sup> 21 (50.0)	<sup>[2]</sup> 33 (45.6)	<sup>[1]</sup> 31 (44.1)	<sup>[1]</sup> 36 (39.6)	<sup>[2]</sup> 67 (42.1)	12 (54.5)	52 (55)	59 (46)	111 (49)
ホ	2 (5.0)	3 (5.9)	5 (5.5)	1 (3.6)	0	1 (1.5)	3 (4.4)	3 (3.3)	6 (3.8)	0	8 (8)	5 (4)	13 (6)
計	40	51	91	<sup>[2]</sup> 30	<sup>[1]</sup> 41	<sup>[3]</sup> 71	<sup>[2]</sup> 70	<sup>[1]</sup> 92	<sup>[3]</sup> 162	22	97	129	226

7.5

本県の小・中学校の先生の中で、女の先生は約40%もいるようですが、校長先生には1人もなっていないことについて、どう思いますか。

- (イ) 女性は、校長先生としては能力が劣っている。  
 (ロ) 女の先生には、べつに家庭の仕事があるので無理である。  
 (ハ) 女の校長先生など考えられない。  
 (ニ) やらせればできる人はいると思う。  
 (ホ) その他

表 8:1

選 択 肢	奄 美 大 島										本 土		
	農 村			市 街 地			合 計				男	女	計
	男	女	計	男	女	計	男	女	Na	NN			
イ	5 (12.5)	20 (38.5)	25 (26.9)	<sup>[1]</sup> 6 (7.9)	7 (17.5)	<sup>[1]</sup> 13 (17.6)	<sup>[1]</sup> 11 (14.5)	27 (29.3)	<sup>[1]</sup> 38 (23.0)	5 (22.7)	23 (24)	27 (21)	50 (22)
ロ	33 (80.5)	28 (53.8)	61 (65.6)	<sup>[1]</sup> 22 (75.0)	<sup>[1]</sup> 30 (72.5)	<sup>[2]</sup> 52 (73.5)	<sup>[1]</sup> 55 (78.3)	<sup>[1]</sup> 58 (62.0)	<sup>[2]</sup> 113 (68.9)	16 (72.7)	61 (63)	88 (68)	149 (66)
ハ	0	2 (3.8)	2 (2.2)	0	1 (2.5)	1 (1.5)	0	3 (3.3)	3 (1.9)	0	4 (4)	3 (2)	7 (3)
ニ	3 (7.3)	2 (3.8)	5 (5.4)	2 (7.1)	3 (7.5)	5 (7.4)	5 (7.2)	5 (5.4)	10 (6.2)	1 (4.5)	9 (9)	11 (9)	20 (9)
計	41	52	93	<sup>[2]</sup> 30	<sup>[1]</sup> 41	<sup>[3]</sup> 71	<sup>[2]</sup> 71	<sup>[1]</sup> 93	<sup>[3]</sup> 164	22	97	129	226

8.1

家のあとつぎをきめるについて、次のような三つの考え方が、あげられます。あなたは、どれに賛成ですか。

- (イ) 長子につがせる。  
 (ロ) 事情によって、どの子でもつがせる。  
 (ハ) 末子につがせる。  
 (イ) がよい。  
 (ロ) がよい。  
 (ハ) がよい。  
 (ニ) わからない。

表 8:2.1

選 択 肢	奄 美 大 島										本 土		
	農 村			市 街 地			合 計				男	女	計
	男	女	計	男	女	計	男	女	Na	NN			
イ	4 (9.8)	8 (15.8)	12 (13.0)	<sup>[2]</sup> 11 (32.1)	<sup>[1]</sup> 12 (28.2)	<sup>[3]</sup> 23 (29.9)	<sup>[2]</sup> 16 (18.8)	<sup>[1]</sup> 20 (21.1)	<sup>[3]</sup> 35 (22.0)	7 (31.8)	65 (67)	88 (68)	153 (68)
ロ	16 (39.0)	14 (27.5)	30 (32.6)	12 (42.9)	22 (56.4)	34 (50.7)	28 (40.6)	36 (40.0)	64 (40.3)	8 (36.4)	27 (28)	35 (27)	62 (27)
ハ	21 (51.2)	29 (58.9)	50 (54.3)	7 (25.0)	6 (15.4)	13 (19.4)	28 (40.6)	35 (38.9)	63 (39.6)	7 (31.8)	5 (5)	6 (4)	11 (5)
計	41	51	92	<sup>[2]</sup> 30	<sup>[1]</sup> 40	<sup>[3]</sup> 70	<sup>[2]</sup> 71	<sup>[1]</sup> 91	<sup>[3]</sup> 162	22	97	129	226

8.2.1

あなたの家では、誕生日のお祝を、  
どんなにおこなっていますか。

- (イ) かかさず、おこなっている。
- (ロ) あまり、おこなっていない。
- (ハ) おこなっていない。

表 8:2.2

選 択 肢	奄 美 大 島										本 土		
	農 村			市 街 地			合 計				男	女	計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計(N)				
イ	15 (31.9)	13 (30.2) (31.0)	28 (31.1) (31.5)	<sup>[1]</sup> 13 (39.4) (38.7)	19 (46.3)	<sup>[1]</sup> 32 (43.2) (43.1)	<sup>[1]</sup> 28 (35.0) (34.6)	32 (38.1) (38.6)	<sup>[1]</sup> 60 (36.6) (36.6)	65 (67)	88 (68)	153 (68)	
ロ	13 (27.7)	<sup>[1]</sup> 6 (14.0) (11.9)	<sup>[1]</sup> 19 (21.1) (20.2)	9 (27.3) (29.0)	13 (31.7)	22 (29.7) (30.6)	(27.5) 22 (28.2)	<sup>[1]</sup> 19 (22.6) (21.7)	<sup>[1]</sup> 41 (25.0) (24.8)	27 (28)	35 (27)	62 (27)	
ハ	19 (40.4)	(55.8) 24 (57.2)	(47.8) 43 (48.3)	<sup>[1]</sup> 11 (33.3) (32.3)	9 (22.0)	<sup>[1]</sup> 20 (27.0) (26.4)	<sup>[1]</sup> 30 (37.5) (37.2)	33 (39.3) (39.8)	<sup>[1]</sup> 63 (38.4) (38.5)	5 (5)	6 (4)	11 (5)	
計	47	<sup>[1]</sup> 43	<sup>[1]</sup> 90	<sup>[2]</sup> 33	41	<sup>[2]</sup> 74	<sup>[2]</sup> 80	<sup>[1]</sup> 84	<sup>[3]</sup> 164	97	129	226	

8.2.2

あなたのお家では、(子どもの)七  
五三のお祝を、どんなに、おこな  
っていますか。

- (イ) かかさず、おこなっている。
- (ロ) あまり、おこなっていない。
- (ハ) おこなっていない。

注 1. この8.2.2の質問に対する回答は、S 43.7に、大島の調査地区にある2小学校を通じて、その児童の父または母から得られたものである。

本土の資料は項目8.2.1についてのものである。

注 2. 同一マス内に2個のカッコがある場合は、下の方のカッコ内の数値は大島郡外の県内出身のものをのぞいたものについての%を示す。

表 8:3

選 択 肢	奄 美 大 島										本 土		
	農 村			市 街 地			合 計				男	女	計
	男	女	計	男	女	計	男	女	Na	NN			
イ	33 (80.5)	43 (86)	76 (83.5)	[1] 23 (78.6)	[1] 32 (79.4)	[2] 55 (80.0)	[1] 56 (80.9)	[1] 75 (83.1)	[2] 131 (82.2)	19 (86.4)	83 (86)	111 (86)	194 (86)
ロ	4 (9.8)	3 (6)	7 (7.7)	[1] 2 (3.6)	5 (12.8)	[1] 7 (9.1)	[1] 6 (7.4)	8 (9.0)	[1] 14 (8.3)	1 (4.5)	8 (8)	13 (10)	21 (9)
ハ	4 (9.8)	4 (8)	8 (8.8)	4 (14.3)	3 (7.7)	7 (10.1)	8 (11.8)	7 (7.9)	15 (9.6)	2 (9.1)	6 (6)	5 (4)	11 (5)
計	41	50	91	[2] 29	[1] 40	[3] 69	[2] 70	[1] 90	[3] 160	22	97	129	226

8.3

それでは、なくなった家族の、年忌  
や年祭は、どうですか。

- (イ) かかさず、おこなっている。  
(ロ) あまり、おこなっていない。  
(ハ) おこなっていない。

表 8:4

選 択 肢	奄 美 大 島										本 土		
	農 村			市 街 地			合 計				男	女	計
	男	女	計	男	女	計	男	女	Na	NN			
イ	3 (7.9)	23 (45.1)	26 (29.2)	9 (34.6)	12 (30.8)	21 (32.3)	12 (18.8)	35 (38.9)	47 (30.5)	6 (27.3)	18 (18.6)	35 (27.1)	53 (23.5)
ロ	8 (21.1)	19 (37.3)	27 (30.3)	7 (26.9)	12 (30.8)	19 (29.2)	15 (23.4)	31 (34.4)	46 (29.9)	4 (18.2)	10 (10.3)	18 (14.0)	28 (12.4)
ハ	7 (18.4)	16 (31.4)	23 (25.8)	2 (7.7)	6 (15.4)	8 (12.3)	9 (14.1)	22 (24.4)	31 (20.1)	2 (9.1)	10 (10.3)	18 (14.0)	28 (12.4)
ニ	10 (26.3)	22 (43.1)	32 (36.0)	9 (34.6)	6 (15.4)	15 (23.1)	19 (29.7)	28 (31.1)	47 (30.5)	7 (31.8)	25 (25.8)	28 (21.7)	53 (23.5)
ホ	0 (0)	6 (11.8)	6 (6.7)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (6.7)	6 (3.9)	0 (0)	3 (3.1)	1 (0.8)	4 (1.8)
ヘ	16 (42.1)	11 (21.6)	27 (30.3)	[2] 10 (30.8)	[1] 17 (41.0)	[3] 27 (36.9)	[2] 26 (37.5)	[1] 28 (30.0)	[3] 54 (33.1)	9 (40.9)	50 (51.5)	65 (43.4)	106 (46.9)
回 答 者 数	38	51	89	[2] 28	[1] 40	[3] 68	[2] 66	[1] 91	[3] 157	22	97	129	226

8.4

結婚をきめる条件として、相手の性格、健康、経済力、教養、容姿のほか、右の(イ)から(ハ)のような条件についても考える必要があるでしょうか。あなたが、必要と思うものをえらんで下さい。いくつでもかまいません。

- (イ) 家と家のつりあいを考える。  
(ロ) 家柄のよい相手をえらぶ。  
(ハ) 出身地域を考える。  
(ニ) できれば、地理的に近いところのものがよい。  
(ホ) いとこ、ふたいとこぐらいがよい。  
(ヘ) これらのことは、考えなくてよい。

## 後 記

この調査の実施にあたって多大のご配慮をいただいた方は 県教委の大島教育事務所田中九仁丸、名瀬市教育長窪田義徳、名瀬小学校長南郷光良、笠利町教育長安田宗侃、節田小学校長川野末彦の諸先生であります。更に直接に面接者としてご協力をいただいたのは 名瀬小学校 久原秀雄、福田芳夫、春山忠雄、西新蔵、原口竜男、久善造、節田小学校西村義則、永吉次夫、植田孝憲、永豪敏、福島平八、西嘉一の諸先生であります。ここに記して厚くお礼を申し上げます。

なお財団法人鹿児島大学援助会から経費の一部を 援助していただきました。厚くお礼を申し上げます。